

# (特非)福島県防災士会 会報

特定非営利活動法人 福島県防災士会 事務局発行 2025.10.01 №026

## 令和7(2025)年度 通常総会及び新役員(理事・監事)担当役職報告



議長就任の挨拶をする滝田理事長

8月3日(日)に二本松市にある男女共生センター5階研修室において、令和5年度通常総会が開催されました。総会に先立ちまして、滝田理事長が議長に選任され議事が進行されました。

6月1日(月)現在の会員数は123名で、総会は、会場出席や書面評決、評決の委任などで参加が可能です。総会成立は、定款第27条の総会の定足数により3分の1以上の参加で成立します。今回の3分の1以上は41名でした。菅野監事の確認により、会場参加者15名、委任状提出者60名、有効票合計75名であり、総会が成立して

いることの報告とともに、過半数は38票になることが報告されました。

また、議長への委任票は各議案毎に賛成票に投じられたことを確認しました。このことから、各議案について以下の通り確認したことをご報告いたします。

第1号議案: 令和6年度事業活動実績報告【賛成75票、反対0票】可決しました。

第2号議案: 令和6年度活動計算書【賛成75票、反対0票】可決しました。

第3号議案: 令和7年度事業活動計画(案)【賛成75票、反対0票】可決しました。

第4号議案: 令和7年度活動予算(案)【賛成75票、反対0票】可決しました。

第5号議案: 令和7年度～令和8年度役員選任(案)【賛成75票、反対0票】可決しました。

第6号議案: 規定変更報告【報告事項により評決結果はございません。】

なお、総会後に開催された理事会において、総会で承認された理事の役職を以下の通り決定いたしました。合わせてご報告いたします。理事長: 滝田吉宏(郡山市)、副理事長: 小山英樹(会津若松市)、事務局担当理事: 藁谷俊史(いわき市)、理事: 鈴木ひとみ県北方部長兼務(福島市)、理事: 影山茂美(福島市)、理事: 長岡三喜雄県中県南方部長兼務(郡山市)、理事: 鈴木里美会津方部長兼務(会津若松市)、理事: 高橋利宗相双方部長兼務(相馬市)、理事: 榎良幸広いわき方部長兼務(いわき市)の9名となります。監事は、関根篤志(須賀川市)、菅野豊(いわき市)の2名となります。専門部会は、情報通信ネットワーク部会長: 長岡理事、防災指導教育部会長兼地区防災計画推進部会長: 藁谷理事、ダイバーシティ推進部会長: 鈴木(里)理事となりました。今後、各方部や専門部会で会員の皆様と協力しながら、会員の皆様のニーズに出来るだけお応えできるようにすると共に、防災活動を通じて地域貢献してまいります。引き続き、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 日本防災士会会員の活動理念

- 第1. 日本防災士会会員(以下「会員」という)は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2. 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。  
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
  - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立する。
  - 2 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
  - 3 自治体と緊密な連携を図ること。

## 令和7年度総会後の研修会【森まさこ顧問(参議院議員)】



講演中の森まさこ顧問

8月3日に行われました本会の総会の第2部として研修会を開催いたしました。研修会は、総会に来賓としてご挨拶いただきました参議院議員の森まさこ先生にお願いし、演題として『災害時代における防災について』とお話しを頂きました。初めに7月30日に発生したカムチャッカ津波で避難者が避難所で熱中症になり、避難所環境の整備の必要性についてお話しされ、いろいろな方を頼って改善を進める重要性をお話しされました。その他に防災庁のサテライトを福島県内やいわき市に誘致したいと思っている。更に、福島ロボットテストフィールドの有効活用の推進を

行う。災害時には早い判断を求められる。防災士も同じである。普段からの訓練などを通して、連携と早い判断で行動できるようになってほしい。とお話しされました。

なお、総会後の理事会において、本会の顧問に推薦され承認されましたことをご報告いたします。

## 5月17日いわき方部会勉強会開催



ご講演中の濱口拓殖大学特任教授

5月17日いわき市労働福祉会館の会議室において福島県浜通り郵便局長会、いわき市女性消防クラブ連絡協議会から50名以上の方が集まり勉強会を開催いたしました。講師には、拓殖大学の特任教授 濱口和久氏をお招きして『これからの防災活動に必要な視点』と題してご講演いただきました。

また、経済再生担当大臣の赤沢亮正氏からビデオメッセージや東京大学大学院准教授の沼田宗純氏、森まさこ参議院議員によるご講演をいただきました。

## 8月2日福島地方気象台主催『お天気フェア2025』に参加

8月2日に福島市の福島第二合同庁舎において福島地方気象台『お天気フェア2025』が開催されました。本会は後援団体になった他に新聞紙スリッパ作成のブースを担当しました。会場には多くの親子連れが来場しました。新聞紙スリッパづくりに参加された親子や日本気象予報士会の皆さんは、災害時にいろいろなもので工夫して災害を乗り切れることを学び、家でも防災グッズ作成や非常持出品の点検を行うと話しておりました。今後も関係団体の皆様と協力して防災普及啓発を進めてまいります。



来場者に防災グッズの作成を説明する鈴木理事

会員の皆様へ：会員様各個人で活動したり、地域や地区で行われる行事に参加したときは、その行事名や内容と写真を添えて理事長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。Eメールの場合は、藁谷理事宛 [t\\_waragai\\_bousaisi\\_19617@yahoo.co.jp](mailto:t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp) へ直接送ってください。皆様の活動状況を記録し、会員の方に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。

## 郡山市総合防災訓練参加報告



郡山市総合防災訓練に参加した皆様と協力者の方々

去る8月30日(土)に郡山市総合防災訓練が富田西小  
学校で開催されました。当日は、防災グッズ作成体験訓練  
として出展し、新聞紙スリッパとビニール袋ポンチョの作成  
を行いました。本会からは、滝田理事長、長岡理事、鈴木  
(ひ)理事、小針会員、三浦会員、橋本会員が参加されま  
した。また、地元の自主防災組織から2名の方が協力者と  
して参加され、8名で運営を行いました。当日は、多くの方  
が新聞紙スリッパとビニール袋ポンチョの作成を体験され  
て、身近にあるもので災害時に工夫して避難生活を送る

知恵を学びました。本会でも地域の方と交流を持つことが出来て、とても有意義な出展となりました。  
今後も地域との交流を深め、災害時に協力・連携して活動できるように進められるようにしたいと思います。  
他の地域においても、地元の方々と普段から交流をもって備えてほしいと思います。

## 令和7年度防災功労者内閣総理大臣表彰

9月17日(水)に総理大臣官邸において、『令和7年度  
防災功労者内閣総理大臣表彰式』が開催されました。

今年度の防災功労者には、本会の会員である遠藤和子さ  
んが隊長として活動されている内郷女性消防クラブが選ば  
れ、遠藤さんが代表として受賞されました。

内郷消防クラブでは、地元の内郷地区で指人形劇「カン  
カン君の火遊び」、「創作防災かぞえ歌」によるお手玉遊び、  
絆防災水引細工作成、非常持出袋・ハザードマップの活用  
などの指導講演や聴覚障がい隊員による手話講習、民生

委員の隊員による高齢者世帯への防災声掛けなど多岐に渡る活躍が評価され、今回の受賞となりました。

また、同時に福島県からは、災害現場での顕著な防災活動として令和5年9月台風13号による豪雨災  
害で、いわき市消防団も受賞しております。いわき方部の会員には消防団に所属されている方も多く居  
ります。受賞おめでとうございます。



授賞式後の石破総理大臣と遠藤会員

## 令和7年度福島県介護施設等における防災リーダー養成等支援事業



施設担当者へアドバイスする佐藤会員

令和7年度の福島県介護施設等における防災リーダー  
養成等支援事業では、4年目にして初めて南会津エリア  
から対象施設が選ばれ、南会津町と只見町からそれぞれ  
1施設の訪問を行っております。

各施設3回の訪問を予定しておりますが、1回目は事前  
にチェックシートを行い、訪問時に施設の防災関係の課題  
を見つけます。2回目は、見つけた課題の改善進捗を確認  
し、3回目までに改善が完了するように、適宜アドバイス  
を行うとともに、課題の進捗によっては勉強会の対応を行  
っております。写真は、南会津エリアを担当している佐藤会  
員が介護施設において「防災・減災・備え」やマニュアル作成のアドバイスを  
行っている様子です。今後も  
各地で展開されていくと思います。お住いの近くの介護施設等で活動があるときはご協力ください。

①

②

③

④





